

便たらず、大愛の精神に出發し、嚴父の概を以てする硬教育も斯く高旨に入れる宿弊を一洗する爲めには、會社として避け能はざる當爲の措置たるを共に、企業者として自衛上寔に已むを得ざる權宜の措置たるを確信し、敢然として立ち會社百年の計を成すと共にこの渦中に惱みつゝある一般工員達を惡勢力の中より救ひ出さんとし、こゝに會社は凜乎たる決心を固めました。蓋し前陳の如き作業狀態及工員の態度にして續く限り、企業の經營も工場管理も到底満足に行ふことは不可能であつて、所謂産業立國の實現の如きも實に百年河清を待つと同斷であり、前途洵に寒心に堪えざるものありと信じたからであります。

申すまでもなく、今や國家非常の時であります。往年の大震災火災の後を受けて更に客年の一大恐慌の洗禮を受け、創痕深くして容易に癒ゆべくもありません。従つて國民は困苦に堪え缺乏を忍んで和衷戮力、財界立直しと國力更張とに邁進すべきであります。然るにこの非常の時に際して、抑制する所なく、云ひ懸りを設けて敢て總罷業

を行ひ、多衆を待んで不法の要求を貫徹せんとし、その必然の結果として國民生活必需品の供給に一大頓挫を來し、更にその市價昂騰の因を作らんとしたる如きは決して看過し難き所であります。

右の如く、會社は鬱積せる病竇拂拭のため萬難を排して應酬するに至つたのでありまして、爭議關側の稱ふる如く決して時代錯誤的なる労働政策を採らんとするものではありません。従業員の幸福増進と事業の繁榮とは本社が常に念願する所でありまして、今回の爭議に當りて斷乎たる方針を把握して渝らざるも、一にこれがためであります。決して謂はれなく一般善良なる人々を苦しめんとするものではありません。眞に地位と職分とを理解し、責任を完うする人々とは何時にても事を共にする雅量を持つて居り、時代思潮に逆行して労働運動を頭から罪惡視する等の時代錯誤を敢てするものではありません。